



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 パス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3840 URL http://www.pathway.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中原 信一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 時田 匡二郎 TEL 03-6823-6664
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 836 | 0.6 | △18 | — | △17 | — | △19 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 831 | 315.9 | △79 | — | △79 | — | △88 | — |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △7百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △91百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | △0.96 | — |
| 29年3月期第1四半期 | △5.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 1,532 | 712 | 42.6 | 32.33 |
| 29年3月期 | 1,488 | 545 | 32.9 | 26.03 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 652百万円 29年3月期 490百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,200 | △5.8 | △100 | — | △100 | — | △120 | — | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 20,181,600株 | 29年3月期 | 18,838,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 一株 | 29年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 19,731,339株 | 29年3月期1Q | 17,513,420株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予測数値と異なる可能性もあります。尚、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、主たる事業である通信販売事業において、新商品発売に向けたプロモーション強化及び海外ECサイトへの出店準備等を行い、旅行事業においてはB to C分野の売上拡大に注力するなど、第2四半期以降の反転攻勢に向けた準備を行うとともに、コスト削減についても積極的に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は836,379千円（前年同四半期は831,376千円、前年同四半期比5,003千円増）、営業損失は18,349千円（前年同四半期は79,252千円の営業損失、前年同四半期比60,903千円減）、経常損失は17,363千円（前年同四半期は79,194千円の経常損失、前年同四半期比61,830千円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19,002千円（前年同四半期は88,236千円の親会社株主に帰属する四半期純損失、前年同四半期比69,234千円減）となり、連結での黒字化には至っていないものの、後記のとおり通信販売事業においてセグメント利益が黒字に転換するなど、収益の改善が進み始めております。

なお、前期までの業績不振に対する経営責任を明確化し、当社グループの早期収益改善と成長戦略の推進を目的として、大幅な経営体制の刷新を実行いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、当社が営む「コンサルティング事業」、パス・トラベル株式会社が営む「旅行事業」、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオが営む「通信販売事業」の3つの報告セグメントにより構成されております。

①コンサルティング事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き合いがございました。

②旅行事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、学術旅行等の法人手配旅行の減少により、売上高は71,878千円（前年同四半期は73,781千円、前年同四半期比1,903千円減）、営業損失は3,851千円（前年同四半期は1,006千円の営業損失、前年同四半期比2,844千円増）となりました。

③通信販売事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、店頭でのプロモーション及びテレビ通販でのイベントオンエア枠の好調により、売上高は765,801千円（前年同四半期は747,521千円、前年同四半期比18,280千円増）、営業利益は32,922千円（前年同四半期は2,725千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,232,819千円となり、前連結会計年度末に比べ53,687千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が225,327千円の増加、売掛金が115,715千円の減少、商品及び製品が67,083千円減少したことによるものであります。固定資産は299,434千円となり、前連結会計年度末に比べ10,329千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が7,953千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,532,254千円となり、前連結会計年度末に比べ43,357千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は424,927千円となり、前連結会計年度末に比べ118,459千円減少いたしました。これは主に買掛金が70,075千円、未払金が20,901千円減少したことによるものであります。固定負債は394,664千円となり、前連結会計年度末に比べ5,533千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、819,592千円となり、前連結会計年度末に比べ123,993千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は712,661千円となり、前連結会計年度末に比べ167,350千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.6%（前連結会計年度末は32.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新株予約権戻入益及び債務保証損失引当金戻入額の計上に伴い、10百万円の差異が発生したことを受け、第2四半期以降の計画値につきまして再度精査を行ったところ、販売費および一般管理費におきまして20百万円の削減の見込みとなったことから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成29年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 260,931 | 486,259 |
| 受取手形及び売掛金 | 349,699 | 234,403 |
| 商品及び製品 | 452,369 | 385,285 |
| 原材料及び貯蔵品 | 60,889 | 62,805 |
| 前渡金 | 21,896 | 24,869 |
| 未収入金 | 7,121 | 385 |
| その他 | 29,844 | 42,700 |
| 貸倒引当金 | △3,621 | △3,889 |
| 流動資産合計 | 1,179,132 | 1,232,819 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 37,433 | 37,433 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △28,219 | △28,573 |
| 建物及び構築物（純額） | 9,214 | 8,859 |
| 工具、器具及び備品 | 209,204 | 209,204 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △136,160 | △143,527 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 73,043 | 65,676 |
| その他 | 1,073 | 841 |
| 有形固定資産合計 | 83,331 | 75,377 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 91,238 | 88,554 |
| ソフトウェア | 33,833 | 32,971 |
| その他 | 9,657 | 9,149 |
| 無形固定資産合計 | 134,728 | 130,675 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 91,705 | 93,131 |
| その他 | 17,580 | 16,686 |
| 貸倒引当金 | △17,580 | △16,436 |
| 投資その他の資産合計 | 91,705 | 93,381 |
| 固定資産合計 | 309,764 | 299,434 |
| 資産合計 | 1,488,896 | 1,532,254 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 256,908 | 186,833 |
| 未払金 | 177,314 | 156,413 |
| 未払法人税等 | 236 | 2,085 |
| 前受金 | 11,589 | 11,544 |
| 加盟店預り金 | 723 | — |
| 賞与引当金 | 21,286 | 5,728 |
| 返品調整引当金 | 3,404 | 2,631 |
| 本社移転損失引当金 | 31,580 | 22,823 |
| その他 | 40,343 | 36,868 |
| 流動負債合計 | 543,387 | 424,927 |
| 固定負債 | | |
| 債務保証損失引当金 | 393,217 | 387,737 |
| 退職給付に係る負債 | 4,385 | 4,490 |
| その他 | 2,595 | 2,436 |
| 固定負債合計 | 400,198 | 394,664 |
| 負債合計 | 943,585 | 819,592 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,804,270 | 1,894,849 |
| 資本剰余金 | 1,844,391 | 1,934,970 |
| 利益剰余金 | △3,158,337 | △3,177,340 |
| 株主資本合計 | 490,324 | 652,479 |
| 新株予約権 | 13,010 | 6,849 |
| 非支配株主持分 | 41,976 | 53,332 |
| 純資産合計 | 545,311 | 712,661 |
| 負債純資産合計 | 1,488,896 | 1,532,254 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 831,376 | 836,379 |
| 売上原価 | 315,560 | 419,602 |
| 売上総利益 | 515,815 | 416,776 |
| 販売費及び一般管理費 | 595,068 | 435,125 |
| 営業損失(△) | △79,252 | △18,349 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | — |
| 為替差益 | 199 | 75 |
| 業務受託料 | — | 960 |
| その他 | 398 | 497 |
| 営業外収益合計 | 608 | 1,532 |
| 営業外費用 | | |
| 株式交付費 | 395 | 450 |
| その他 | 154 | 97 |
| 営業外費用合計 | 550 | 547 |
| 経常損失(△) | △79,194 | △17,363 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | — | 5,019 |
| 債務保証損失引当金戻入額 | — | 5,479 |
| 特別利益合計 | — | 10,498 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △79,194 | △6,865 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,193 | 780 |
| 法人税等調整額 | 9,370 | — |
| 法人税等合計 | 12,564 | 780 |
| 四半期純損失(△) | △91,759 | △7,646 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △3,523 | 11,356 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △88,236 | △19,002 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △91,759 | △7,646 |
| 四半期包括利益 | △91,759 | △7,646 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △88,236 | △19,002 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △3,523 | 11,356 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失246,299千円、親会社株主に帰属する当期純損失987,647千円を計上し、当第1四半期連結累計期間におきましても、営業損失18,349千円（前年同四半期比60,903千円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失19,002千円（前年同四半期比69,234千円減）を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後、当社グループは下記対策を講じ、当該状況の改善及び解消に努めてまいります。

① 既存事業における安定した収益の確保と収益力の強化

経営体制の強化を図り、当社グループの成長発展と企業価値の向上を実現し、黒字への転換を確実に達成することにより、安定した収益の確保と収益力の強化を図ってまいります。

② 財務基盤の確立

当社は、これまでの資金調達を新株予約権の行使に依存してまいりましたが、現時点におきましては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるものの、今後も新株予約権の行使促進等を含めた資本政策を継続して実施しつつ、上記①による早期黒字化を果たして新たな資金調達手段を模索し、成長投資のための財務基盤を確立してまいります。

しかし、これらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められません。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社の第9回新株予約権の行使により、平成28年4月27日付で40,012千円、平成26年5月31日付で100,004千円の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が70,452千円、資本準備金が70,452千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,753,877千円、資本準備金が1,756,879千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社の第9回新株予約権の行使により、平成29年4月21日付で150,013千円、平成29年6月23日付で30,002千円の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が90,578千円、資本準備金が90,578千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,894,849千円、資本準備金が1,897,851千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | |
|-----------------------|------------|--------|--------|---------|--------------|---------|
| | コンサルティング事業 | 決済代行事業 | 旅行事業 | 通信販売事業 | コミュニティサービス事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,175 | 3,396 | 73,637 | 747,504 | 3,661 | 831,376 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 15 | 144 | 16 | — | 175 |
| 計 | 3,175 | 3,411 | 73,781 | 747,521 | 3,661 | 831,551 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,967 | 1,230 | △1,006 | △2,725 | △31,321 | △31,855 |

| | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|--------------|--------------------------------|
| 売上高 | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 831,376 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | △175 | — |
| 計 | △175 | 831,376 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △47,397 | △79,252 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,397千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等があります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|--------|---------|---------|--------------|--------------------------------|
| | コンサルティング事業 | 旅行事業 | 通信販売事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 70,578 | 765,801 | 836,379 | — | 836,379 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | 1,299 | — | 1,299 | △1,299 | — |
| 計 | — | 71,878 | 765,801 | 837,679 | △1,299 | 836,379 |
| セグメント利益又は損失 (△) | — | △3,851 | 32,922 | 29,071 | △47,420 | △18,349 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47,420千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等があります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失246,299千円、親会社株主に帰属する当期純損失987,647千円を計上し、当第1四半期連結累計期間におきましても、営業損失18,349千円(前年同四半期比60,903千円減)、親会社株主に帰属する四半期純損失19,002千円(前年同四半期比69,234千円減)を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後、当社グループは下記対策を講じ、当該状況の改善及び解消に努めてまいります。

① 既存事業における安定した収益の確保と収益力の強化

経営体制の強化を図り、当社グループの成長発展と企業価値の向上を実現し、黒字への転換を確実に達成することにより、安定した収益の確保と収益力の強化を図ってまいります。

② 財務基盤の確立

当社は、これまでの資金調達を新株予約権の行使に依存してまいりましたが、現時点におきましては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるものの、今後も新株予約権の行使促進等を含めた資本政策を継続して実施しつつ、上記①による早期黒字化を果たして新たな資金調達手段を模索し、成長投資のための財務基盤を確立してまいります。

しかし、これらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。